

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年2月 22日

事業所名 まくらざき子ども発達支援センターすまいる

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		訓練室他利用定員に対応した適切なスペースが確保されている。	
	2 職員の配置数は適切である	○		基準配置に加配した職員数を確保している。	
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○		施設内はバリアフリー化した設備となっている。	
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		キャリアパス制度が導入されており取り組みがなされている。	
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		評価表の活用により保護者の意向等を事業改善に役立てている。	
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		法人ホームページにて公表している。	
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		第三者評価受審に向けての体制強化を進めていきたい。
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		内部研修・外部研修等への参加機会を確保し、参加者から全体への伝達講習も合わせて行っている。	
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		障害特性に応じた個別のスケール等も加えた適切なアセスメントにより、個別支援計画の策定を行っている。	
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		標準化されたアセスメント様式を導入し適切に実施している。	
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	○		活動プログラムについては子どもの発達の確認を行いながらスタッフの協議の立案している。	
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		個々の発達に応じた活動プログラムを段階的に提供しており、プログラムが体系的に提供されるように工夫している。	
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している		○		平日・長期休暇等に応じて課題設定を行っているが「個別支援計画」に沿って、よりきめ細やかな療育の検討を行ってきたい。
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○		日々の療育においても障害特性に応じた個別化と相互交流による効果を目的とした集団生活を適切に組み合わせしている。	
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		担当者会議等で提供された情報をスタッフ間で共有し支援内容の確認を行っている。	
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		送迎時間等の関係で当日の打ち合わせは難しいため、後日共有が行われている。	
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		「療育日誌」で日々の記録を行いスタッフの個々の端末にてデータ共有がなされている。	
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		モニタリングの実施により放課後等デイサービス計画の見直しを行い、その必要性を判断している。	
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	○			ガイドラインの基本活動を基準として個々の発達に応じた支援を行っている。	

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		療育担当職員が児童発達支援管理者の参加で調整を行っている。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○		学校の週間予定表を共有し、行事や送迎時間の確認を行っている。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		○		医療的ケア児の相談件数がないため、医療との体制等については今後の事例によると思われる。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○		担当者会議等において情報の共有を図りながら相互理解に努めている。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している		○		事業開始から間もなく、学校卒業事例を有さない。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		定例会での事例検討会や個別相談等で助言を得ている。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	○		地域の他機関との交流を目的に児童館や放課後等児童クラブへ出かけて行った。	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	○		自立支援協議会の中で「評価ツール」の開発を行政や関係機関と協働し取り組んでいる。	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		子どもの状況を連絡帳等活用して伝えることにより共通理解を図っている。	
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○		日々の連絡帳等活用し保護者へのペアレント・トレーニングを行っている。	新型コロナウイルス対策により保護者向けの行事を縮小していた。連絡帳や個別相談の中で一部実施されているが、家庭環境等多様なニーズが背景にあるためより細やかペアレント・トレーニングを検討していきたい。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		外国人等についても翻訳し内容理解につながっている。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		保護者からの悩みについては、事業所内での直接的な相談や連絡帳を活用しての助言、メールでの対応等柔軟に対応している。	子育ての悩み等発信して下さる方には対応できているが、潜在的なニーズへの対応を検討していきたい。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○		感染症対策により「保護者会」の開催を縮小していたが、今年度から実施方法に配慮しながら開催している。	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		「苦情受付マニュアル」の中でその対応について体制を整備し、対応がなされている。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		月初めに「すまいるだより」を発行し、活動概要や行事予定などの情報を発信している。	
	35	個人情報に十分注意している	○		個人情報については、「個人情報保護管理規定」に従ってその管理に十分に注意している。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		「連絡帳」や「メール」「お便り」等で随時意思の疎通や情報共有を図っている。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		新型コロナウイルスの感染対策もあり、地域住民との交流の機会が制約されていたが再開に向けて地域との協議を進めていきたい。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○		「BCP」が整備されており一部保護者を交えての訓練の実施もなされているが、保護者への周知と活用については今後積極的な取り組みを進めていきたい。	保護者会等「BCP」や「危機管理マニュアル」についての概要と事業所での対応を説明していきたい。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		定期的に訓練を実施している	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		法人内の他の事業所と同時開催し、「虐待防止」への意識向上を図っている。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○		身体拘束を必要とする事例はない。今後の事例で保護者を含めての組織的対応が必要な事案が生じた場合は身体拘束を行わない療育を専門的に検証したい。	0
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		アセスメントにて確認し対応している。	現在はアレルギーを有する子どもの利用はない。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○			ヒヤリハットの様式は整備されており、専用のファイルで内容の共有が図られている。今後は「分析」「対応」についてさらに進めていきたい。